

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現II

教科：外国語 科目：論理・表現II 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A-D 組

教科担当者：（AB組：窪田・武田・宮崎）（CD組：窪田・武田・宮崎）

使用教科書：（いづな書店 Harmony English Logic and Expression II）

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】 言語や文化に対する理解を深めるための知識や言語能力を養う。
- 【思考力、判断力、表現力等】 言語や文化に対する知識や言語能力をもとに論理的な思考力や表現方法を身につける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言語や文化に対する知識を用いて、積極的にコミュニケーションを図る態度を培う。

科目 論理・表現II の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自らの学習を調整しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 【 や 】	話 【 発 】					
1 学 期	A 単元：自分のことや身近な人のことを話す 【知識及び技能】現在形・現在進行形・過去形・過去進行形を適切に用いることができる。 【思考力、判断力、表現力等】事柄や話題について、内容を整理し、上記の時制を用いて表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】積極的に自己紹介やペアワークに取り組む。	・指導事項：現在形・現在進行形・あいづち・過去形・過去進行形・主観と客観の区別 ・教材：教科書、ワークブック、授業プリント等。 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	○	○	○	11
	定期考査										1
	B 単元：自分のことや身近な人のことを話す 【知識及び技能】未来の表現・現在完了形を適切に用いることができる。 【思考力、判断力、表現力等】事柄や話題について、内容を整理し、上記の時制を用いて表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】ペアになって週末の予定、珍しい体験について話すことができる。	・指導事項 ・教材：教科書、ワークブック、授業プリント等。 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	○	○	○	11
定期考査										1	
2 学 期	C 単元：日々の生活のことを話す 【知識及び技能】助動詞・受動態を適切に用いることができる。 【思考力、判断力、表現力等】事柄や話題について、内容を整理し、助動詞・受動態を用いて表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】ペアになってルールについて、電話でのやりとり、日本のものについて紹介出来る。	・指導事項 ・教材：教科書、ワークブック、授業プリント等。 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	○	○	○	13
	定期考査										1
	D 単元：したいことやしていることを話す 【知識及び技能】不定詞・使役動詞・知覚動詞・動名詞を適切に用いることができる。 【思考力、判断力、表現力等】事柄や話題について、内容を整理し、不定詞・使役動詞・知覚動詞・動名詞を用いて表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】ペアになって将来の夢、健康について、自分の趣味、ロボットについてやりとり出来る。	・指導事項 ・教材：教科書、ワークブック、授業プリント等。 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	○	○	○	13
定期考査										1	
3 学 期	E 単元：したいことやしていることを話す 【知識及び技能】分詞・分詞構文・関係代名詞・関係副詞を適切に用いることができる。 【思考力、判断力、表現力等】事柄や話題について、内容を整理し、分詞・分詞構文・関係代名詞・関係副詞を用いて表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】ペアになって「修理の依頼」・「あこがれの人を紹介する」・「おすすめの場所」についてやりとり出来る。	・指導事項 ・教材：教科書、ワークブック、授業プリント等。 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	○	○	○	9
	F 単元：説明する・自分の考えを話す 【知識及び技能】比較表現・仮定法を適切に用いることができる。 【思考力、判断力、表現力等】事柄や話題について、内容を整理し、比較表現・仮定法を用いて表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】ペアになって行ってみたい国と日本の比較、食品ごみを減らす方法、国や地域、文化間の違いについてやりとり出来る。	・指導事項 ・教材：教科書、ワークブック、授業プリント等。 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	○	○	○	8
	定期考査										1
							合計				
										70	